

MONKEY 12V用 DN2連スピード&タコメーター取扱説明書

商品番号:09-01-3201

株式会社 **SPECIAL PARTS** 武川

ホームページアドレス <http://www.takegawa.co.jp>
 〒584-0069 大阪府富田田市錦織東3-5-16
 TEL(0721)25-1357 (代)
 FAX(0721)24-5059

適応車種 ・モンキー Z50J-2000001～/AB27-1000001～
 フレーム号機 ・ゴリラ AB27-2500001～

■ご使用前に必ずお読み下さい■

- ◎ 取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎ この製品を取付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。他社製品との組合せは保証対象外になりますのでご遠慮願います。
- ◎ 商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎ 他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

このたびは、TAKEGAWA商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願いいたします。取付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的傷害の発生が想定される内容を示しています。

- ・点検、整備は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・エンジン、マフラー(エキゾーストパイプ)などの、高熱を発生する場所にコードが接触しないよう配線の取り直しには十分気を付けてください。またステムなどの可動部分において、コードが引っ掛かる、挟まるなど配線が断線してしまう恐れがありますのでよく確認してください。
- ・一般公道では、法的速度を守り違法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・取付け後も必ず定期的に点検してください。
- ・取付け作業、点検作業は走行直後などエンジンの熱くなっている状態では行わないでください。
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
(部品の脱落の原因となります。)

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・本製品の取り付けは運転に支障がないように、配線の取り直しなどに気を付け、確実に行ってください。
- ・取付けたあとも液漏れや配線を定期的に点検してください。
- ・走行中に異常が発生したと思われる場合はすぐに車両を安全な場所に停止し、異常箇所を点検してください。
- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。
(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。
(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。
又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

- ◎ 商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対して、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。ただし交換工賃等の本製品以外の一切の費用は対象となりません。
正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。
- ◎ この取扱説明書は、本商品を破壊されるまで保管下さいますようお願い致します。
- ◎ 性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品及び価格は予告無く変更されます、あらかじめご了承下さい。
- ◎ 車両自体の原因による場合、(レギュレーターの設定電圧が基準値を超えて過充電となった場合なども)保証は適用されません。

ヘッドランプなどのワット数の多いバルブが切れますと、消費できない電力分、電気系全体での電圧が上がってしまい、他のバルブやメーターに大きな負担を与えます。バルブ切れの際は、直ちに走行を止めメーター等の配線を抜いてください。ランプへの配線を遮断するだけの簡易ON/OFFスイッチは、OFFにすると上記同様バルブ切れの状態になりますので、絶対に取付けないで下さい。

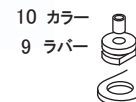
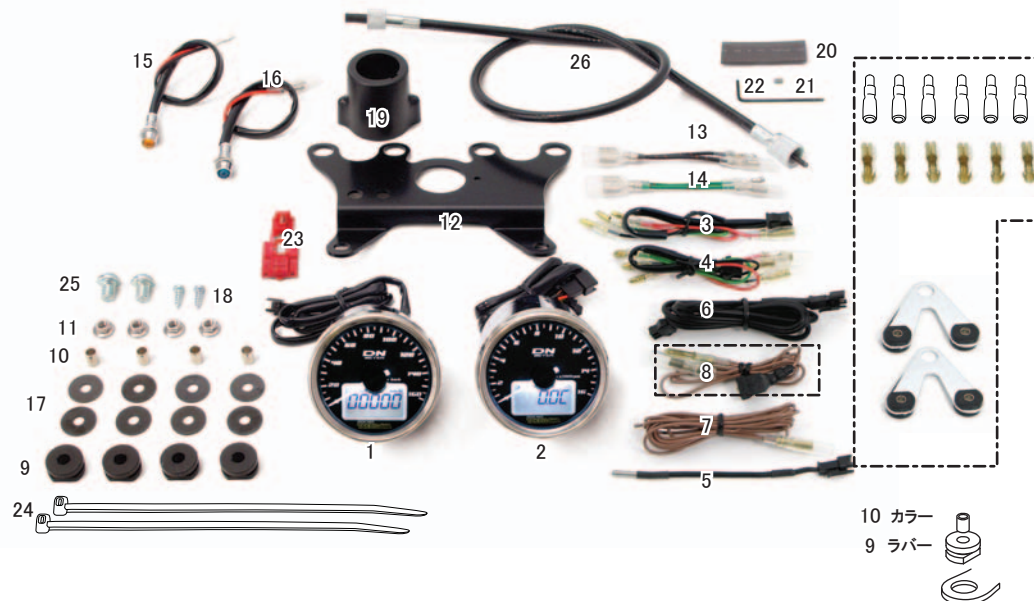
※バッテリーの電圧が11V以下の場合、必ず補充充電が必要です。

この商品は精密機械です。12Vバッテリーの電気を使用し作動させています。充電できない(電圧が無い)状態のバッテリーを使用し続けると 車両側で発電している電気がそのまま電装系に流れキーON電源で作動させるものが、可電圧で壊れます。必ず、12.4V前後ある状態でバッテリーを使用してください。

商品内容

番号	部品名	数量
1	DNスピードメーター	1
2	DNタコ&サーモメーター	1
3	スピードメーター電源コード	1
4	タコメーター電源コード	1
5	スティック温度センサー	1
6	温度センサーコード	1
7	ピックアップコードA	1
8	ピックアップコードB	1
9	クッションラバー	4
10	カラー	4
11	M5ナット	4

番号	部品名	数量
12	メータステー	1
13	ブラックサブコード	1
14	グリーンサブコード	1
15	オレンジインジケーター	1
16	グリーンインジケーター	1
17	プレーンワッシャ	8
18	タッピングスクリュー	2
19	イグニッションスイッチカバー	1
20	熱収縮チューブ	1
21	六角穴付止めネジ	1
22	Lレンチ 1.5mm	1
23	エレクトロタップ	1
24	タイラップ150mm	2
25	ボタンヘッドソケットスクリュー8X10	2
26	スピードメーターケーブル670mm	1



※ 点検内部品使用しません
 付属ステーに付いているラバー
 とカラーを取り外し、使用します。



※ ヘッドライトOFFで使用しないで下さい

ヘッドライトを消して走行すると、バッテリーが過充電になり、バッテリーが破裂、液漏れ等起こします。充電の為にヘッドライトを消しても急速充電にはなりません。バッテリーの寿命を短めてしまうだけです。車両側レギュレーターも故障します。レース等で使用する場合、メーターへの電源は別で取って下さい。

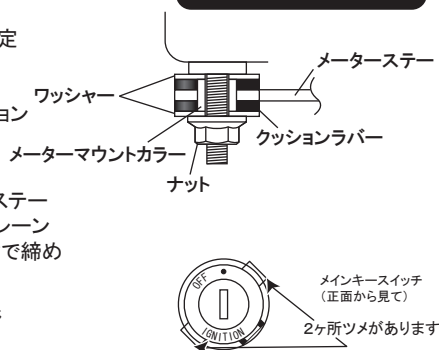
※ HIDヘッドライトキット使用禁止

社外HIDキットを付けている車両は、HIDのバラスト、イグナイター等の高電圧、ノイズ発生の為メーターが壊れます。

メーターの取り付け

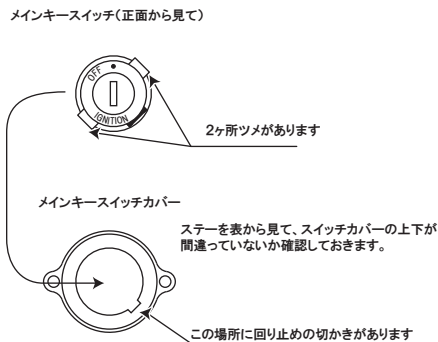
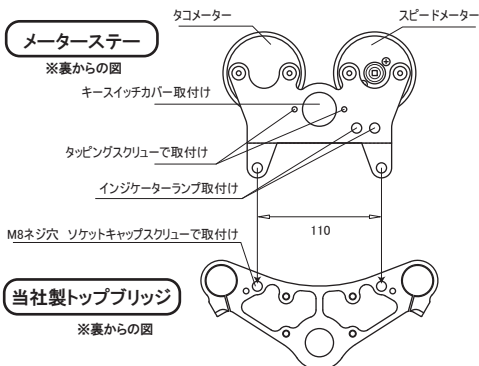
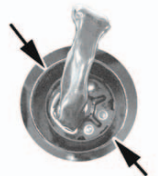
- 水平で安全な場所で、メンテナンススタンド等を用いて車両を安定させます。
- メーターステーにクッションラバー4個を取り付け、カラーをクッションラバーにそれぞれ差し込みます。
- タコメーターのネジ部にプレーンワッシャ5×18を入れメーターステー右側にタコメーターを取り付けます。クッションラバー裏側よりプレーンワッシャ5×18を入れ、フランジ六角ナットを取り付け、指定トルクで締め付けます。トルク:5N・m(0.5kgf・m)
- メーターステーにニュートラルインジケータランプ、ターンインジケータランプをそれぞれ取り付けます。

DNタコ&スピードメーター

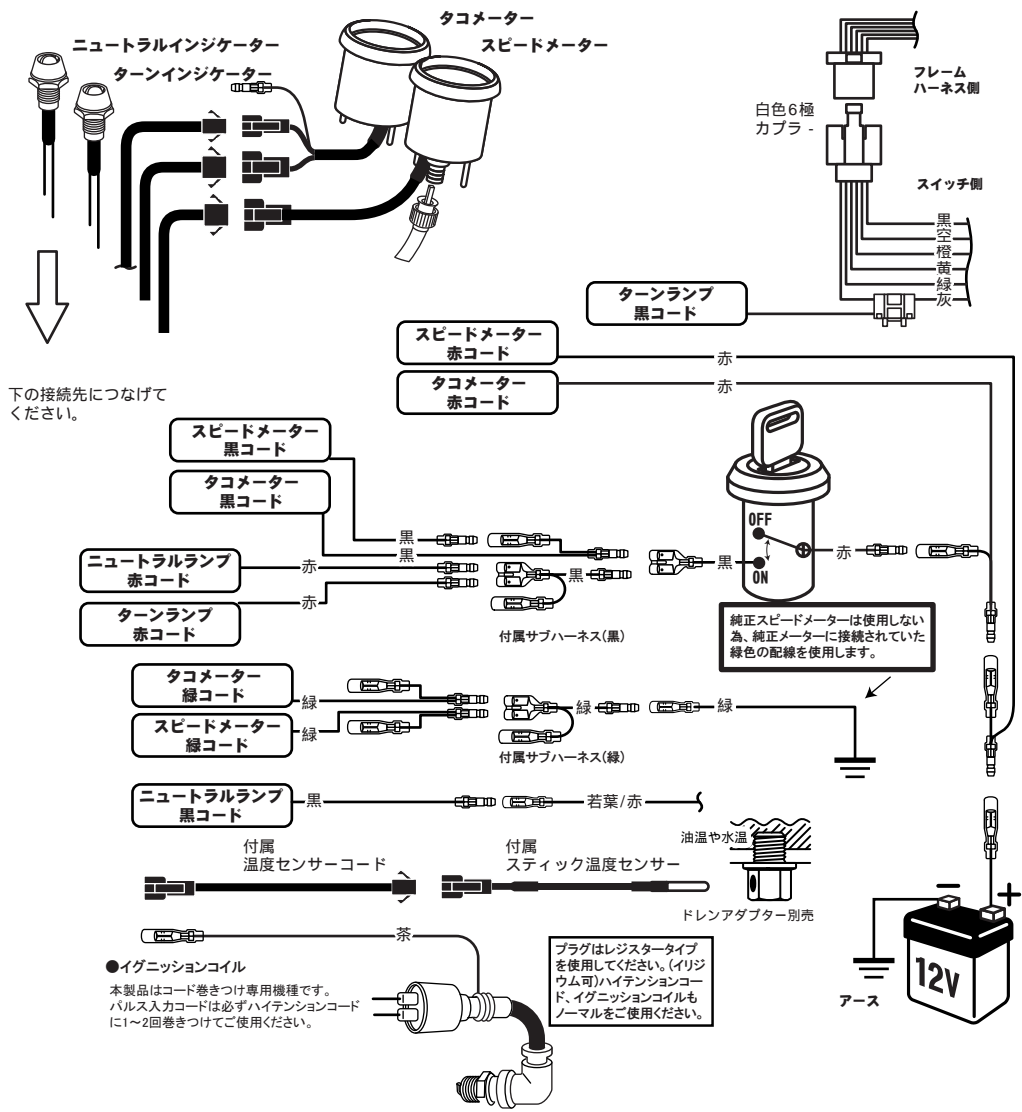


メーターステ - の取り付け

- メインスイッチの配線カブラを取り外し、車両よりメインスイッチを取り外します。写真の矢印部分に爪がありますので、細いマイナスドライバー等で押す等して、メインスイッチを取り外して下さい。(簡単には外れない構造になっています。) ※写真はXRモーターで裏側から撮影した写真です。
- キースイッチカバーの切り欠き部が右斜め下になる様タッピングスクリューでカバーを取り付けます。ロックの爪が掛かるまでスイッチをスイッチカバーに差し込みます。 ※ライトケースよりメインキースイッチを取り外す場合、細目のドライバー等で2箇所のロックの爪を内側に押しながらスイッチを抜き取って下さい。
- トップブリッジ裏面のハンドルローホルダーのナットを外します。 ※トップブリッジを外す必要はありません。
- メーターステーをハンドルローホルダーのネジ部分に取り付け、ナットで締め付けます。



配線図 MONKEY用



●エレクトロタップのご使用方法

エレクトロタップを使用し配線を接続する場合はラジオペンチなどで配線のギボシを切り落として下さい。

メーター側の配線をしっかりストッパーに当て[⇒]部分から折り返して下さい。これでコードが仮止めされます。 次に接続端子がついている方を折り返して下さい。プライヤーなどで完全にロックするまでしっかりと押さえてください。

